

平成 29 年 5 月 27 日(土)9:30 から秋田県総合保健センター2F 第 1 研修室にて放射線安全管理セミナーが開催されました。参加者は会員 20 名でした。講師は、血管撮影・インターベンション診療放射線技師の資格を持つ秋田厚生医療センター佐藤会員と秋田大学医学部附属病院篠原会員に努めて頂きました。

講義は IVR の被ばくの説明から始まり、被ばくの測定方法に至るまでの幅広い内容でした。後半は、Avese ソフトを使い空間線量分布図の作図にも挑戦しました。

被ばくの説明では、IVR では手技上透視が長くなり患者さんの皮膚障害が問題となるが、初期の変化は紅斑であり見逃されやすいとのことでした。そこで線量によってはスタッフ間の連携を図り、十分な観察が必要であるとの説明を受けました。

空間線量分布図の作成においては、サンプルデータを使いソフトの使用法を確認しながらの作業になりましたが、最後には参加された皆さんが規定の作図を完成させることが出来ました。

短い時間ではありましたが、IVR での被ばくに関する知識を再認識するとともに、自施設での入射表面線量を把握し空間線量分布図を作成することで、被ばく低減に向けた取り組みに役立つ内容の研修会であったと思います。

(記 加羽 馨)

